

富山県中小企業の振興と人材の育成等に関する県民会議 会議次第

日 時：平成26年8月6日(水)

10:00～11:30

場 所：県庁4階大会議室

1 開 会

2 あいさつ

3 説明事項

- (1) 富山県ものづくり産業未来戦略について
- (2) 富山県ものづくり産業未来戦略雇用創造プロジェクトについて
- (3) とやまナノテクコネクト・次世代ものづくり創出プログラムについて

4 閉 会

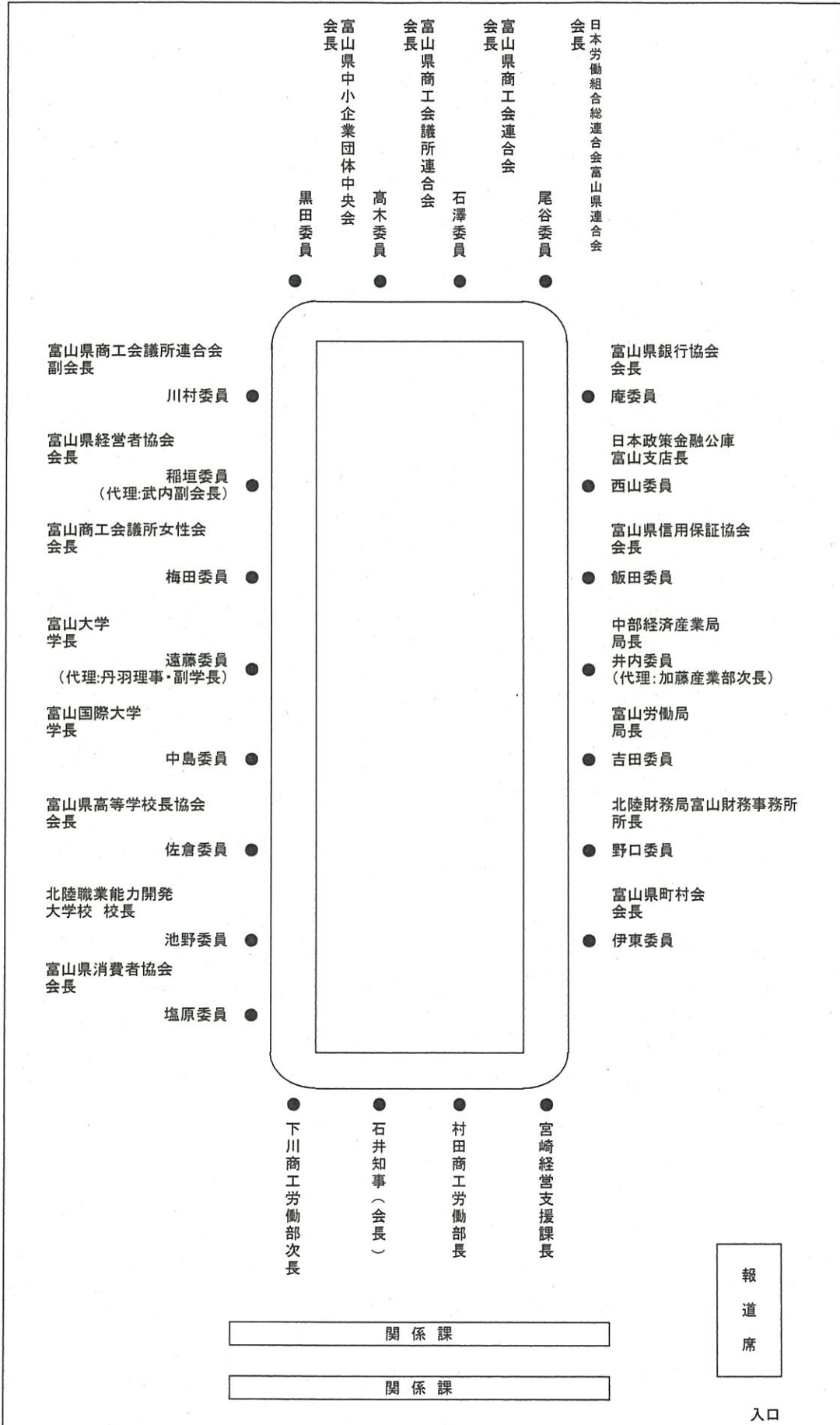
富山県中小企業の振興と人材の育成等に関する県民会議 出席者名簿
(20名出席)

氏名	職名	団体名	備考
高木 繁雄	会長	富山県商工会議所連合会	
石澤 義文	会長	富山県商工会連合会	
黒田 輝夫	会長	富山県中小企業団体中央会	
稲垣 晴彦	会長	(一社) 富山県経営者協会	(代理：副会長 武内繁和)
梅田 ひろ美	会長	富山商工会議所女性会	
江幡 和代	会長	高岡商工会議所女性会	欠席
尾谷 康弘	会長	日本労働組合総連合会富山県連合会	
川村 人志	副会長	富山県商工会議所連合会	
町野 利道	副会長	(一社) 富山県経営者協会	欠席
庵 栄伸	会長	(一社) 富山県銀行協会	
西山 繁	富山支店長	(株)日本政策金融公庫	
飯田 久範	会長	富山県信用保証協会	
遠藤 俊郎	会長	大学コンソーシアム富山	欠席
佐倉 正樹	会長	富山県高等学校長協会	
池野 進	校長	北陸職業能力開発大学校	
井内 摂男	局長	中部経済産業局	(代理：産業部次長 加藤一信)
吉田 研一	局長	富山労働局	
野口 久雄	所長	北陸財務局富山財務事務所	
石井 隆一	知事	富山県 (会長)	
高橋 正樹	会長	富山県市長会	欠席
伊東 尚志	会長	富山県町村会	
遠藤 俊郎	学長	富山大学	(代理：理事・副学長 丹羽昇)
中島 恭一	学長	富山国際大学	
塩原 紘栄	会長	富山県消費者協会	

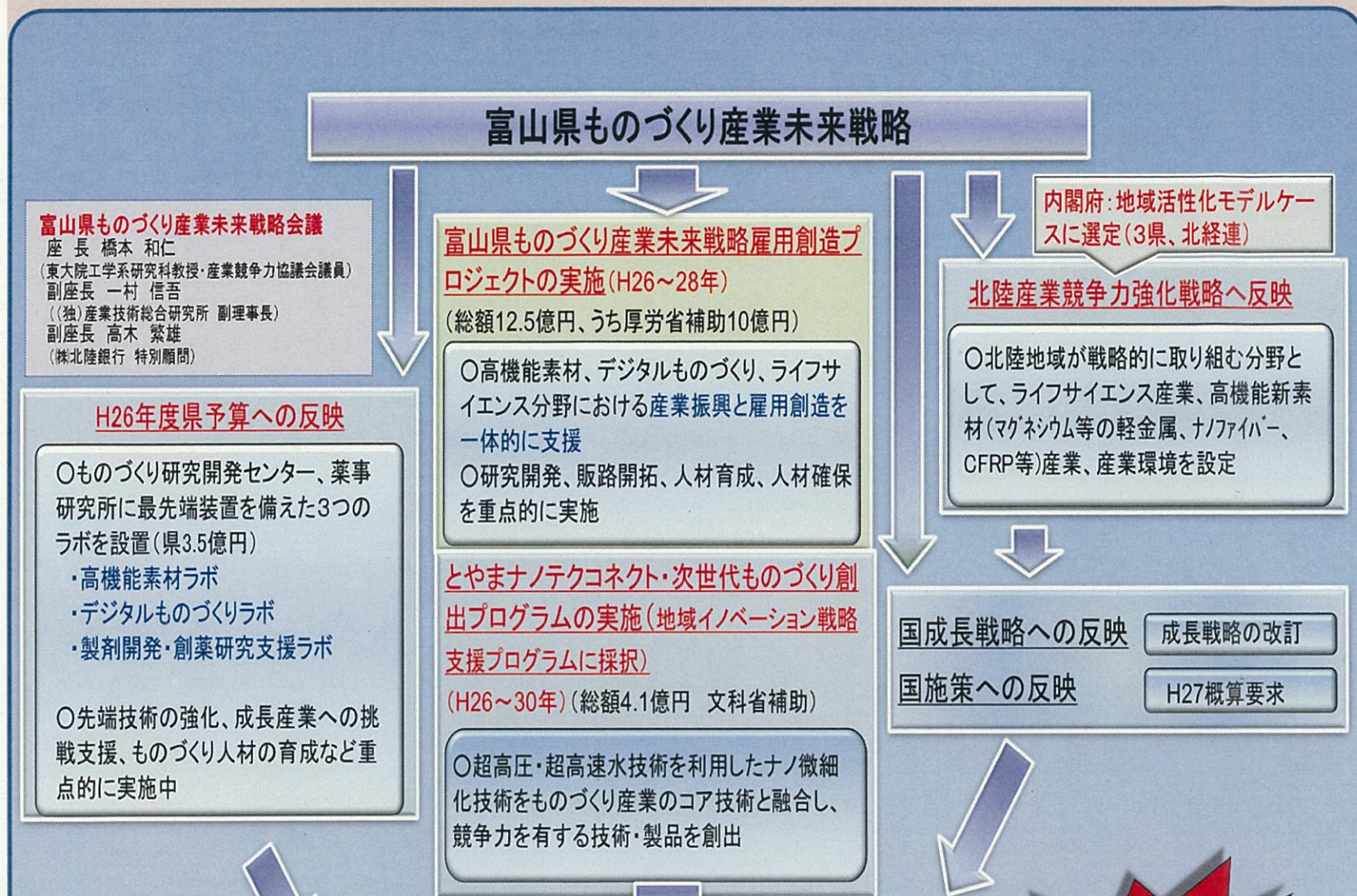
富山県中小企業の振興と人材の育成等に関する県民会議 配席図

平成26年8月6日(水)10:00~11:30

県庁4階大会議室



戦略策定の目的



目指す姿

本県の強みである医薬品やアルミ素材などの分野のコア技術をさらに強化し、これを横に広げ、高度な産業構造へとシフトして新たな様々な成長産業へ多面的に展開

+

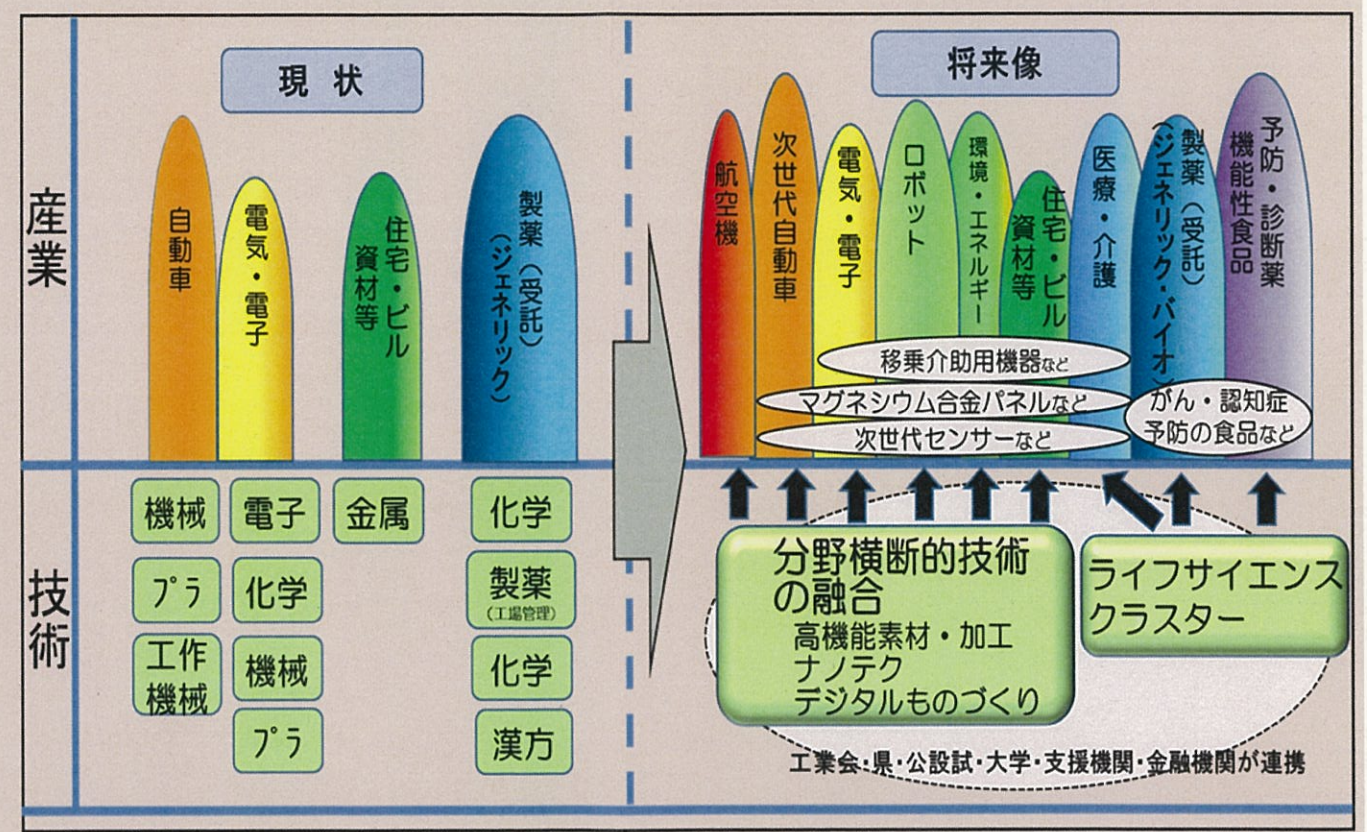
本県内の生産拠点が世界のマザー工場として世界に展開

本県ものづくり産業の現状

- 【ものづくりを取り巻く環境の変化】
- ・デジタル化を背景とした産業構造の変化
 - ・海外市場の伸張と企業の海外展開の加速
 - ・3Dプリンターなど革新的ものづくり技術の出現

- 本県産業の概況
 - ・化学(医薬品)、金属製品、プラスチックなど基礎素材型産業の割合が非常に高い
 - ・幅広い分野の産業とニッチトップ企業が集積
- 本県ものづくり産業の強み
 - ・発注メーカー等とのすり合せ力が強い
 - ・多様な基礎素材型産業の集積

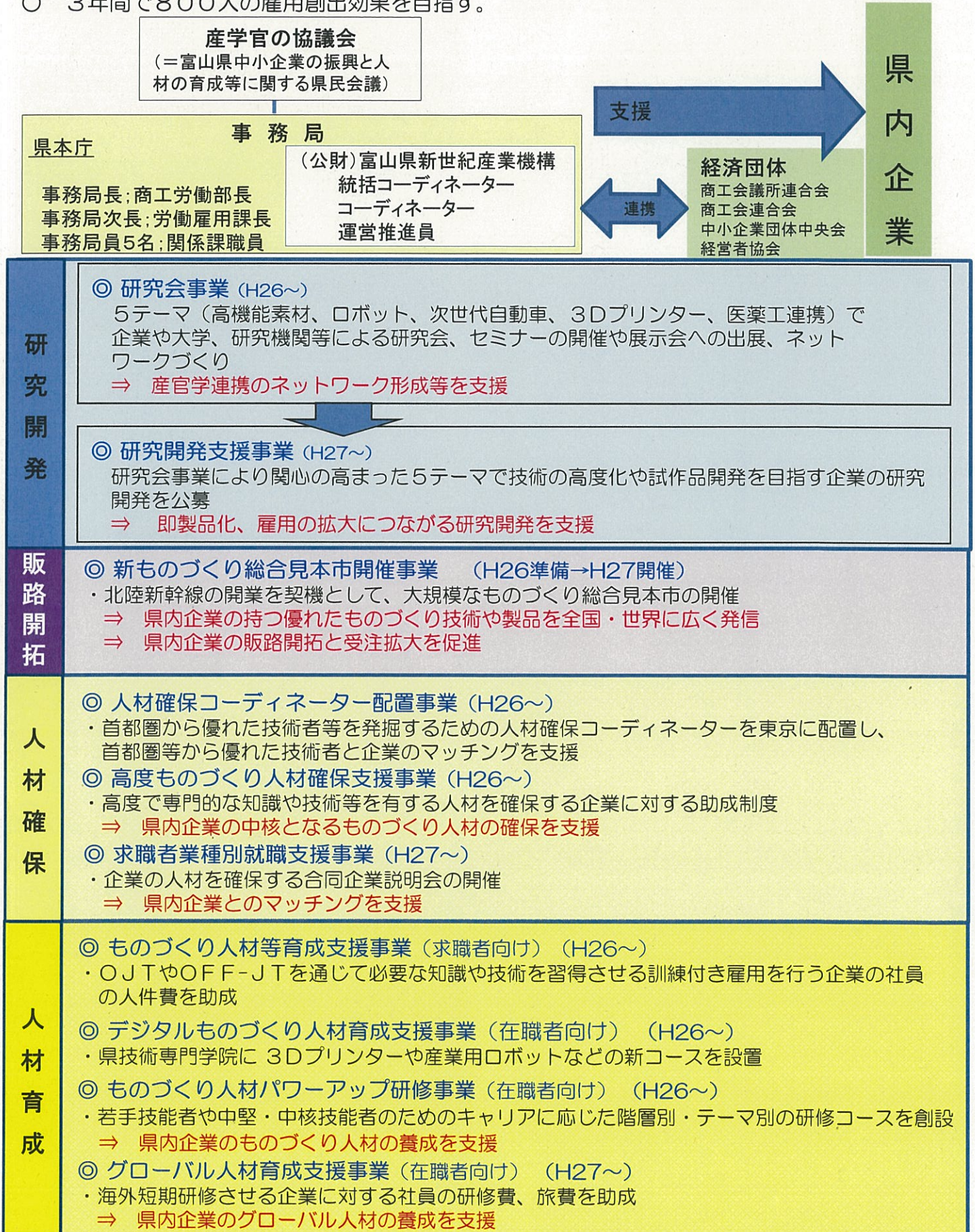
本県ものづくり産業の目指す姿



戦略推進のための取り組み

- 新たな産業クラスター形成のための技術基盤形成(分野横断的技術)
 - 高機能素材分野
 - ・マグネシウム合金、炭素繊維、ナノテクなど
 - デジタルものづくり分野
 - ・3Dプリンターなど
 - ライフサイエンス分野
 - ・北陸ライフサイエンスクラスター
 - ・浅野酵素活性分子プロジェクトなど
- 本県ものづくり企業の成長産業への参入(重点6分野)
医薬・バイオ、医薬工連携、次世代自動車、航空機、ロボット、環境・エネルギー
- 本県ものづくり人材の育成・確保
- 北陸新幹線開業を活かした企業誘致による成長産業集積・県内企業販路開拓・ものづくり技術の発信、海外展開への支援
- デザイン活用等による高付加価値化
- 中小・小規模企業に対する総合的支援

- 3つの分野（高機能素材、デジタルものづくり、ライフサイエンス）を対象に
産業振興と雇用創造を一体的に支援
- 平成26～28年度（3年間）事業総額12.5億円（労働局執行事業0.5億円を除く。）
産業振興（研究開発、販路開拓）と雇用創造（人材確保、人材育成）に概ね1：2で配分
- 3年間で800人の雇用創出効果を目指す。



富山県ものづくり産業未来戦略雇用創造プロジェクトの概要・スケジュール（案）

...平成26年度当初対応

...プロジェクト対応

事業名	スケジュール				
	4月以降実施	平成26年度 10月以降実施を計画		平成27年度	平成28年度
富山県ものづくり産業未来戦略雇用創造プロジェクト協議会事務局運営		○統括コーディネーター(1名)・コーディネーター(3名)等を配置。 ○プロジェクトの総合調整、進捗管理、中小企業の各事業の活用支援等 ○各事業の準備に向けた調査、周知広報等を実施。(※)		引き続き運営	
①富山県ものづくり産業未来戦略研究会 高機能素材、デジタルものづくり、ライフサイエンス 3分野5テーマによる研究会事業等	3分野(5テーマ)毎に研究会設置 ⇒技術セミナー、技術交流会を実施 (3Dプリンター、高機能素材、医薬工連携、次世代自動車、ロボット)	①シンポジウムの開催(研究会と3つのラボのPR等) ②企業ニーズに応じた研究会事業の拡充 ・3Dプリンターの伝統工芸・美術分野への応用WG等の設置 ・専門家による医療機器等の個別相談会の開催 ・燃料電池車(水素自動車)に関する県内企業実態調査 ・首都圏等の大規模展示会への出展 など		引き続き実施	
②研究開発支援 3分野5テーマによる試作開発等への助成	【ハードの整備】 ①高機能素材ラボ(ものづくり研究開発センター) 2設備(4,500万円) マグネシウム合金や炭素繊維強化プラスチック等の開発を支援 ②デジタルものづくりラボ(ものづくり研究開発センター) 3設備(1億7000万円) 3Dプリンターを活用したものづくりを支援 ③製剤開発・創薬 研究支援ラボ(薬事研究所) 4設備(1億3,300万円) 飲みやすい医薬品や健康食品の開発等を支援		研究会の成果等を踏まえ、高度化を目指す技術や試作開発を3分野5テーマで公募、支援(中小企業に助成面で配慮)		
③新ものづくり総合見本市開催 富山県企業の技術・製品の情報発信及び販路開拓等を図る見本市の開催	○開催準備 ・実行委員会の開催 ・募集要項、HPの作成等	○事前準備 ・国内外出展者、バイヤーの勧誘、共同出展等による県内中小企業の出展促進 ・商談会の事前マッチング業務 ・学生・生徒への見本市参加勧誘 (H26)	○新ものづくり総合見本市(H27.4/23~25) ・新たな成長分野毎の企画展の開催 ・新幹線関連技術の展示 ・企業研究ラリー、ものづくり教室の実施 (H27)		
④人材確保コーディネーター配置 転職専門会社に委託し、本県専任担当者を配置し、本県の人材確保を実施		就職専門会社に委託して本県担当の専任者を配置し、同社の情報、ノウハウを活用して就職希望者と本県企業のマッチングを支援。その他、首都圏の大学・大学院の研究室の個別訪問による県内企業PR、個別就職相談会の開催等を実施		引き続き実施	
⑤高度ものづくり人材確保支援 高度人材への経費助成		高度で専門的な知識や技術等を有する人材を確保するための経費を中小企業に対し、助成。新規学卒者は対象外(ただし、ポスドク、外国人留学生は対象とする。)		引き続き実施	
⑥求職者業種別就職支援 指定関連業種による合同企業説明会		(※)27年度実施の合同企業説明会開催に向けた準備、周知広報 本年度は「Uターンフェアインとやま」で外国人留学生を含め、新規学卒者を対象とした合同企業説明会を開催		指定関連業種を対象とした求職者向け合同企業説明会の開催	
⑦ものづくり人材等育成支援 訓練付雇用への助成		求職者に訓練付き雇用を実施する中小企業に対し、訓練費用及び訓練期間中の人件費を助成。(小規模企業に助成面で配慮) 新規学卒者は対象外(ただし、外国人留学生は対象とする。)		引き続き実施	
⑧デジタルものづくり人材育成支援 3Dプリンターや産業用ロボット等に関する訓練コースを創設	3Dプリンター(1台)、産業用ロボット関連設備(1台)等を導入	当初 レディメイド5コース(3Dプリンター操作技術等)、オーダーメイド5コース →拡充 レディメイド5コース(3Dプリンター操作技術等)、オーダーメイド10コース 3Dプリンターをレンタルで追加 (小規模企業、伝統産業などにも配慮)		引き続き実施	
⑨ものづくり人材パワーアップ研修 ものづくり企業の若手及び中堅の技能者の能力向上を図る研修コースを創設		若手技能者等のチャレンジ精神の醸成〔スタートアップコース〕や中堅技能者のコスト・マネジメント(VE(バリューエンジニアリング手法等))や生産技術のスキルアップ(工程の設計・管理及び品質管理マネジメント等)を図るための研修〔キャリアアップコース〕を創設。(7月から順次開催)		引き続き実施	
⑩グローバル人材育成支援 海外研修への助成		(※)27年度実施に向けた準備、周知広報 H24~グローバル人材育成支援事業(国内研修)を実施 H26~グローバル展開エキスパート研修(国内研修・長期)を実施		海外研修を実施する企業に対する助成(中小企業に助成面で配慮)	
地域雇用開発奨励金の特例支給		施設整備と併せて求職者を雇入れた場合の地域雇用開発奨励金の上乗せ支給		引き続き実施	

研究開発

販路開拓

人材確保

人材育成

労働局
実施事業

地域イノベーション戦略支援プログラム

中核拠点：富山県ものづくり研究開発センター

・プロジェクトディレクター (PD)
富山県工業技術センター所長
富山県ものづくり研究開発センター所長
鳥山 素弘

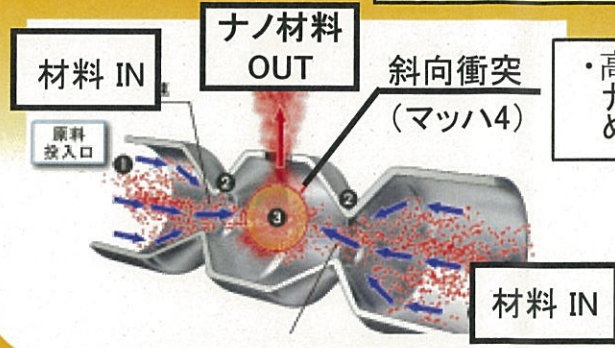
5年間で約4億円(全額国補助)

- ・事業化コーディネータ配置(3名)
- ・研究者招へい(6名)(ものづくり研究開発センター、富山大学、富山県立大学)
- ・<総合調整機関>:(公財)富山県新世紀産業機構

- ・産学官によるネットワークの構築
- ・戦略の中核を担う研究者の集積
- ・ナノテク人材育成プログラムの実施

コア技術

ウォータージェットによるナノ粒子、
ナノファイバー製造技術(スギノマシン)



・高機能ナノ材料「セルロースナノファイバー」を世界で初めて量産販売(H23)

材料をナノ化させる画期的工法

1. 水しか使わないため不純物の混入が無い
2. 低コストで大量に生産可能



透過型電子顕微鏡、エレクトロスピンニング装置、ナノインプリンティング装置など、32の最先端設備を整備。
○今年度新たに2つのラボを整備(設備は39に拡充)
・「高機能素材ラボ」
・「デジタルものづくりラボ」 → ナノテク研究を加速

ものづくり研究開発センター

富山大学工学部

富山県立大学

<p>1. 微細化技術の高度化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さらに細かく、均一の大きさにする技術開発 ・シルクなど新しい材料の微粒化 		<p>2. スキンケアベース材料の開発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・肌に無害で、薬効成分などを多く吸収し、長期間変化しない技術 		<p>3. 高機能医療用材料の開発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ナノファイバーを使った蒸れない医療用繊維素材の開発 		<p>4. 生体適合材料担持ナノファイバーの開発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・再生医療用として、細胞が育ちやすく崩れない生地の開発 ・3Dプリンターによる臓器形状の作成 		<p>5. 高熱伝導ナノ複合樹脂の開発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ナノ材料をプラスチックに混ぜ込み、熱や電気を通しやすい材料の開発 		<p>6. ガス透過性ナノインプリント用モールド材料の開発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・非常に微細な形状の製品を成型するための、ナノファイバーを混ぜた金型の開発 	
<p>湿式微細化技術の高度化(装置)</p>		<p>高機能な分散安定剤(ベース材料への応用)</p>		<p>エレクトロスピンニング装置 皮膚貼付剤、テープ等 (極薄・防水・高通気性・高生体適合性)</p>		<p>生体適合材料担持ナノファイバー バイオプリンティング装置(バイオ用3Dプリンタ)</p>		<p>ガラス代替樹脂 3Dプリンタ用粉末材料(高熱伝導性、高導電性樹脂)</p>		<p>細胞チップ等(高度樹脂加工)</p>	
<p>機械・金属</p>		<p>化学</p>		<p>繊維</p>		<p>医薬・バイオ</p>		<p>プラスチック</p>		<p>電気・電子</p>	
<p>【事業化想定企業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大手製薬企業 ・大手化粧品企業 ・大手二次電池企業 		<p>【事業化想定企業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大手化粧品企業 ・県内機械、金属企業 ・県内製薬企業 <p>など</p>		<p>【事業化想定企業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内繊維企業 <p>など</p>		<p>【事業化想定企業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内製薬企業 ・県内医療機器企業 ・県内繊維企業 <p>など</p>		<p>【事業化想定企業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内樹脂製品企業 ・大手化学企業 <p>など</p>		<p>【事業化想定企業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内樹脂製品企業 ・大手化学企業 ・県内精密金型企業 <p>など</p>	

世界市場を獲得できるダントツ製品の創出

新たな産業クラスターの形成

平成26年8月6日
経営支援課

国補助金の県の採択状況

1 ものづくり中小企業・小規模事業者試作開発等支援補助金（新ものづくり補助金）

（1）事業の概要及び目的

ものづくり中小企業・小規模事業者が認定支援機関（商工会、金融機関等）等と連携し、実施する試作品・新サービス開発、設備投資等を支援するもの。

（2）予算額

1, 400億円（H25年度国補正）

（3）補助率及び上限額

2/3、【成長型】1,500万円、【一般型】1,000万円、【小規模】700万円

（4）採択実績

183件（全国採択数9,613件）

- ・事業所数（工業）に占める割合 約6% 東海・北陸ブロック1位
- ・北陸3県でトップの採択数、県採択件数183件は全国採択件数の約2%

石川県 127件
福井県 117件

2 創業促進事業（創業促進補助金）

（1）事業の概要・目的

起業・創業や第二創業を行う個人、中小企業・小規模事業者の事業計画の実施に要する費用を支援するもの。

（2）予算額

44億円（H25年度国補正）

（3）補助率及び補助上限額

2/3、200万円

（4）採択実績（4月末現在）

- 4件（創業3件、第二創業1件）
- ・商業・サービス業が中心

3 商店街まちづくり事業（まちづくり補助金）

（1）事業の概要・目的

商店街等において実施する、当該地域の行政機関等の要請に基づく地域住民の安心・安全な生活環境の維持のための施設・設備等の整備を支援するもの。

（2）予算額

200億円（H24年度国補正）

（3）補助率及び補助上限額

2/3、1億5,000万円

（4）採択実績（10月末現在）

30件（照明LED化24件、防犯カメラ設置8件、非常用電源更新1件）